

ビスカクシ取り外し方法

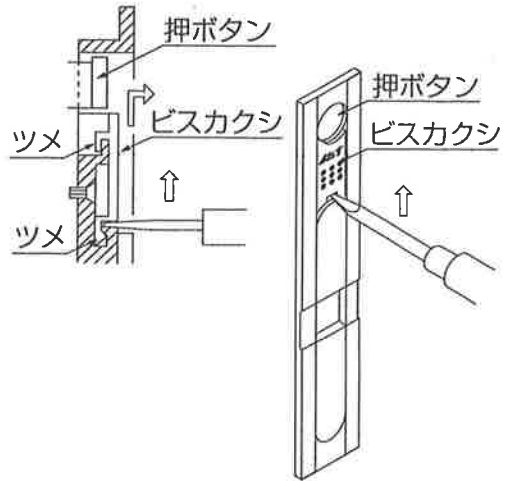
取説番号 836R326

下部ビスカクシ



- ①ツマミを上げる（解錠）
- ②小さな⊖ドライバーをビスカクシの切欠部に入れる。
- ③ドライバーでビスカクシを持ち上げ取り外す。

上部ビスカクシ



- ①ツマミを下げる（施錠）
- ②押ボタンを押す（ガードロック）
- ③小さな⊖ドライバーをビスカクシの切欠部に入れる。
- ④ドライバーでビスカクシを上方にスライドさせ、取り外す。
- Ⓢスライドさせずに、手前に引き抜くと、ツメが折れるため、注意して下さい。

御使用の前に必ず取扱い説明書を御覧ください。

召合せ錠

- ・本錠は、施錠とガードロック（障子の開口部を制限する機能）の二つの機能を持っています。
- 下記操作は、障子をきっちりと締めた状態で行ってください。（障子を開けたままでは、安全装置が働くため、ツマミ及び押ボタンの操作はできません。）

〈施錠操作方法〉

1. 鍵による作動……… 鍵を右へ回すと施錠、左へ回すと解錠
2. ツマミによる作動…ツマミを下げると施錠、上げると解錠

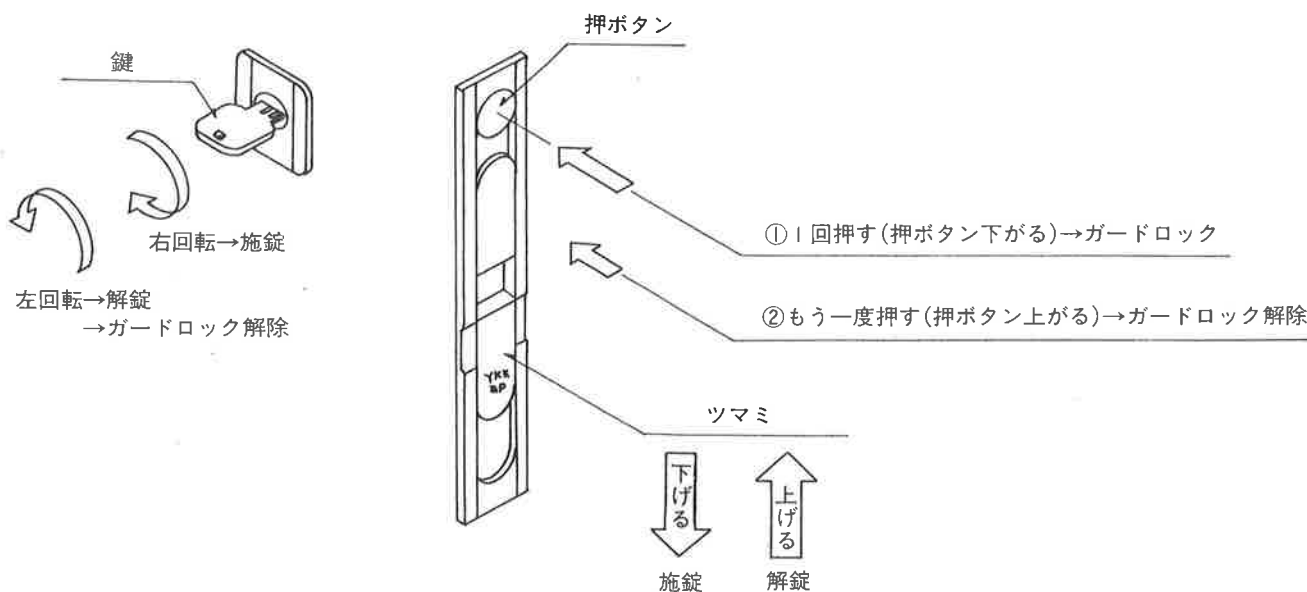
〈ガードロック操作方法〉

室内側の押ボタンでのみガードロックをかけることができます。

解除は、押ボタン、鍵の両方で可能です。

1. 押ボタンによる作動 ①押ボタンを1回押す(押ボタン下がる)とガードロック状態
②もう一度押す(押ボタン上がる)とガードロック解除
2. 鍵によるガードロック解除——鍵を左へ回すとガードロック解除

（注）ガードロックには、施錠機能はありません。外出の際、及び就寝時には、必ず鍵またはツマミで施錠してください。



戸先錠

- ・本錠は、施錠機能を持っています。
- 下記操作は、召合せ錠と同様に安全装置付ですので障子をきっちりと締めた状態で行ってください。

〈施錠操作方法〉 ……召合せ錠と同じです。

1. 鍵による作動……… 鍵を右へ回すと施錠、左へ回すと解錠
2. ツマミによる作動…ツマミを下げると施錠、上げると解錠

★梱包部品一覧表・・・取付けの前に、下表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。
また、表中の○印の番号は、取付図の番号と連動しています。

取附番号 R2295

| 戸先錠部品 | | | |
|-------|----|---------------------|-----|
| No. | 略図 | 名称 | 個数 |
| ① | | ケース | 2 |
| ② | | フロント | |
| ③ | | フロント裏板 | |
| ④ | | 内側化粧板 (シリンダー付) | 1 |
| ⑤ | | 内側化粧板 (シリンダー無) | 1 |
| ⑥ | | 外側化粧板 | 1 ※ |
| ⑦ | | 外側穴無し化粧板 | 1 ※ |
| ⑧ | | ビスカクシA | 2 ※ |
| ⑨ | | ケース取付ビス (M4×12) | 4 ※ |
| ⑩ | | 内側化粧板 取付ビス(M4×8) | 2 ※ |

※戸先錠部品袋

| | | |
|-----|----------------------------|-----------|
| 説明書 | 1. 「あや」取付説明書(本書) | 3. お願いカード |
| | 2. 「あや」取扱い説明書 (合カギ袋に同梱) | |

| 召合わせ錠部品 | | | |
|---------|----|-----------------------------------|-----|
| No. | 略図 | 名称 | 個数 |
| ⑪ | | 取付板 | 1 |
| ⑫ | | ストライク | |
| ⑬ | | シリンダー | |
| ⑭ | | ストライク・ケース 内側化粧板取付ビス (M4×12) | 5 ※ |
| ⑮ | | 外側化粧板 | 1 ※ |
| ⑯ | | ケース | 1 |
| ⑰ | | 内側化粧板 | 1 |
| ⑱ | | セットピン | 1 |
| ⑲ | | ビスカクシB | 1 ※ |
| ⑳ | | ビスカクシC | 1 ※ |
| ㉑ | | コンスキー | 3 |
| ㉒ | | 合カギ (合カギ袋に同梱) | 3 |

※召し合せ錠部品袋

戸先錠 (2K-15512シリンダー付) 取付説明書
(2K-15513シリンダー無)

A. ケースを取付けます。

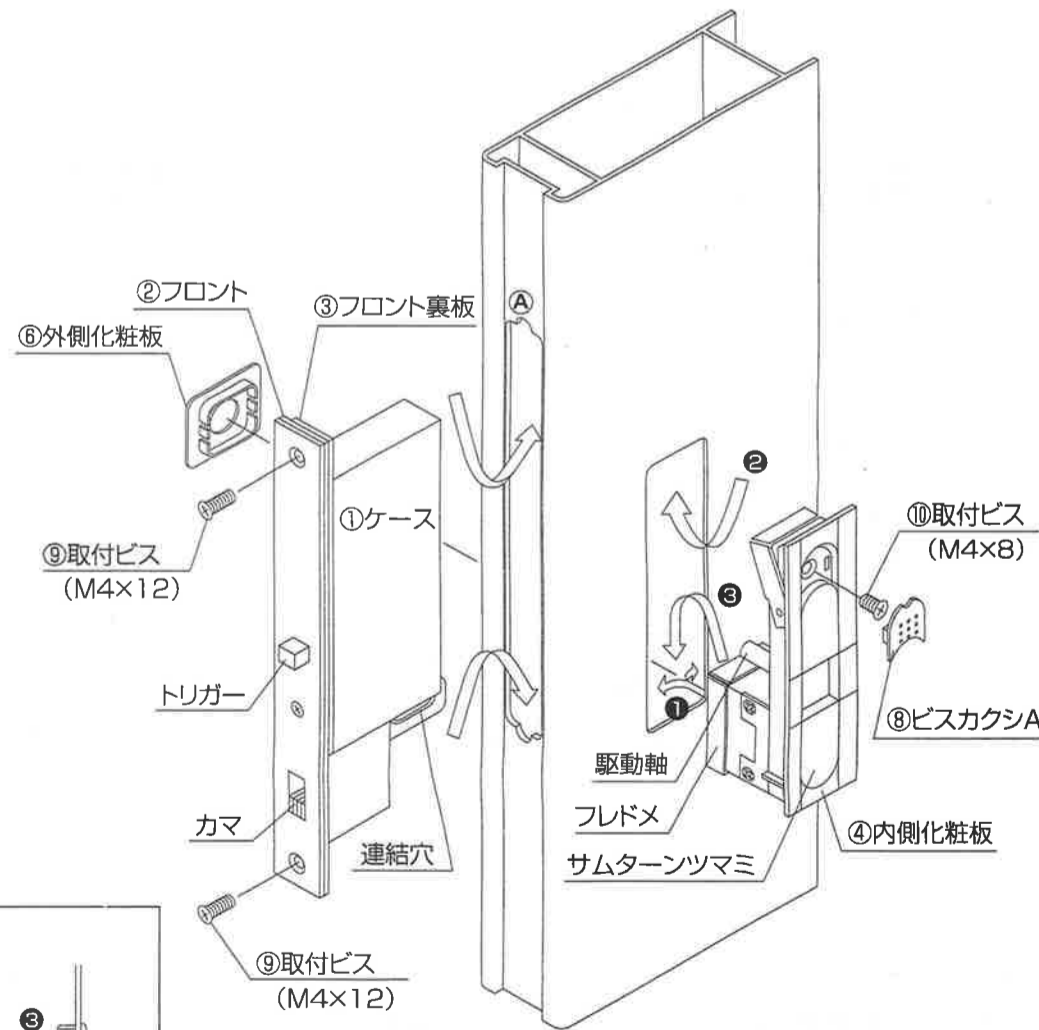
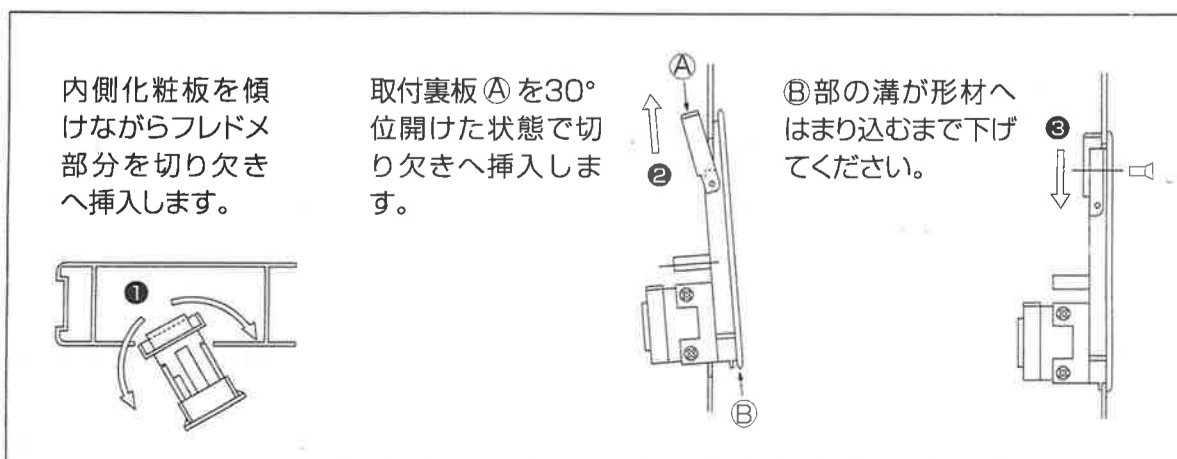
1. ケース①を上下に傾けながら切り欠き部へ挿入し、フロント②とフロント裏板③で型材A部をはさみ込むように切り欠き部へ収めてください。
2. 取付ビス⑨で、ケースを固定します。

B. 内側化粧板・外側化粧板を取付けます。

1. トリガーを押しながら連結穴を引き下げ、カムを出しておいてください。
2. 内側化粧板④を(図-1)の方法にて、障子切欠部へ挿入してください。この時、サムターンツマミを上下へ動かしながら、駆動軸がケース①の連結穴へ入る様にしてください。
3. 取付ビス⑩で、内側化粧板④を固定します。
4. 内側化粧板④へ、ビスカクシA⑧を確実にはめ込んでください。
5. 障子外側より外側化粧板⑥を確実にはめ込んでください。

※2K-15512(シリンダー付)と、2K-15513(シリンダー無)の取付方法は同じですが、2K-15513(シリンダー無)は外側化粧板の穴無のものを使用してください。

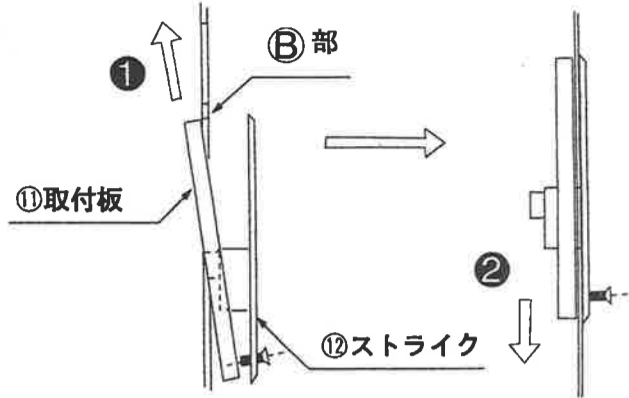
(図-1)



ガードロック付召合わせ錠 (2K-15511) 取付説明書

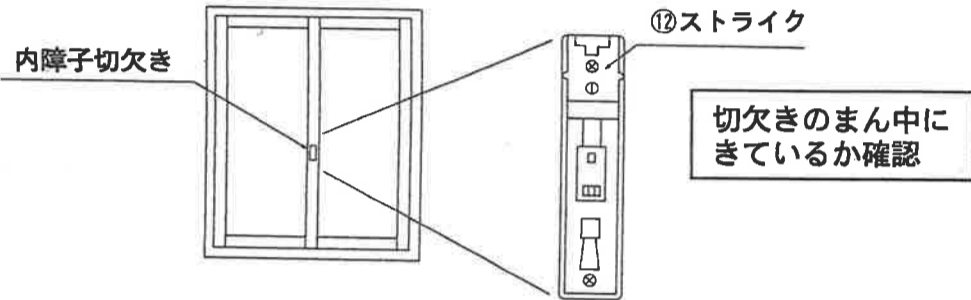
A. 外障子に外錠(ストライク、取付板、外側化粧板)を取付けます。

1. 外障子内側から取付板①を①②の手順でいれます。

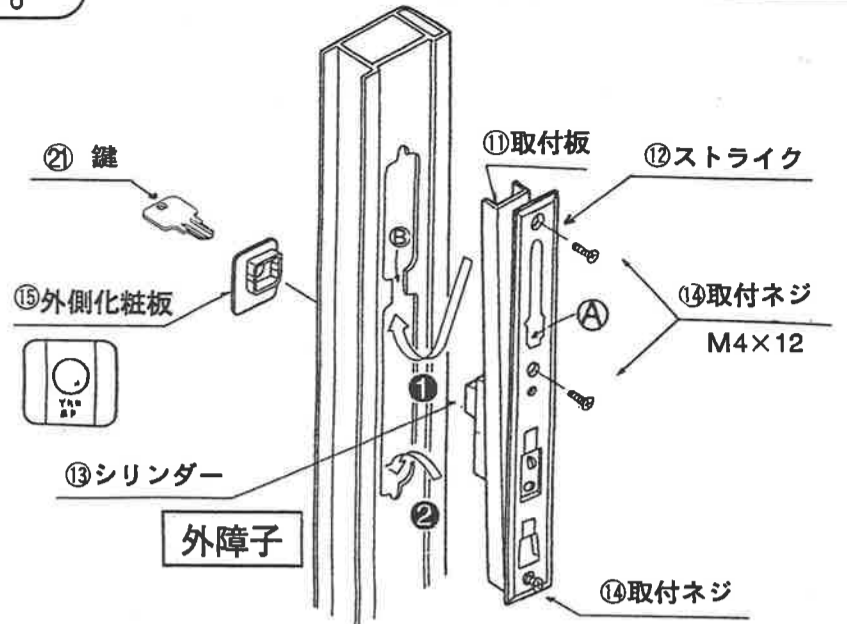


2. ストライク⑫の A 部と切欠き B 部を合わせて、取付ネジ⑭で固定し、位置合わせをします。(図-1)

3. 障子をきっちりと閉め、内障子の切欠きのまん中にストライク⑫がきているか確認してください。開閉方向にずれている場合は、切欠きのまん中にくるように、ストライクを動かし、位置調整をしてください。



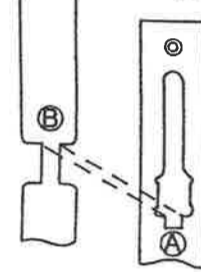
4. シリンダー⑬に、外側化粧板⑮ (YKK a p マーク入り) を、はめ込みます。



外障子とストライクの位置合わせ (図-1)

外障子切欠き

⑫ ストライク



A B を合わせ取り付ける。

B. 内障子に内錠(ケース、内側化粧板)を取付けます。

1. 内障子外側からケース⑯をいれます。

2. 内側化粧板⑰のツマミを持ち上げ、駆動軸がケース穴 C に入るように差し込み、取付ネジ⑭で軽く止めます。

3. 障子をきっちりと閉め、内側化粧板⑰の取付ネジ⑭をゆるめ、内錠を少し持ち上げ、ツマミを下げ施錠します。

4. 内錠を少し持ち上げ、セットピン⑱を印のついているところまで差し込んで、そのままの位置で取付ネジ⑭を、締めてください。(図-2)

※上記の方法で調整できない場合は、外障子のストライク⑫を動かし、再度調整してください。

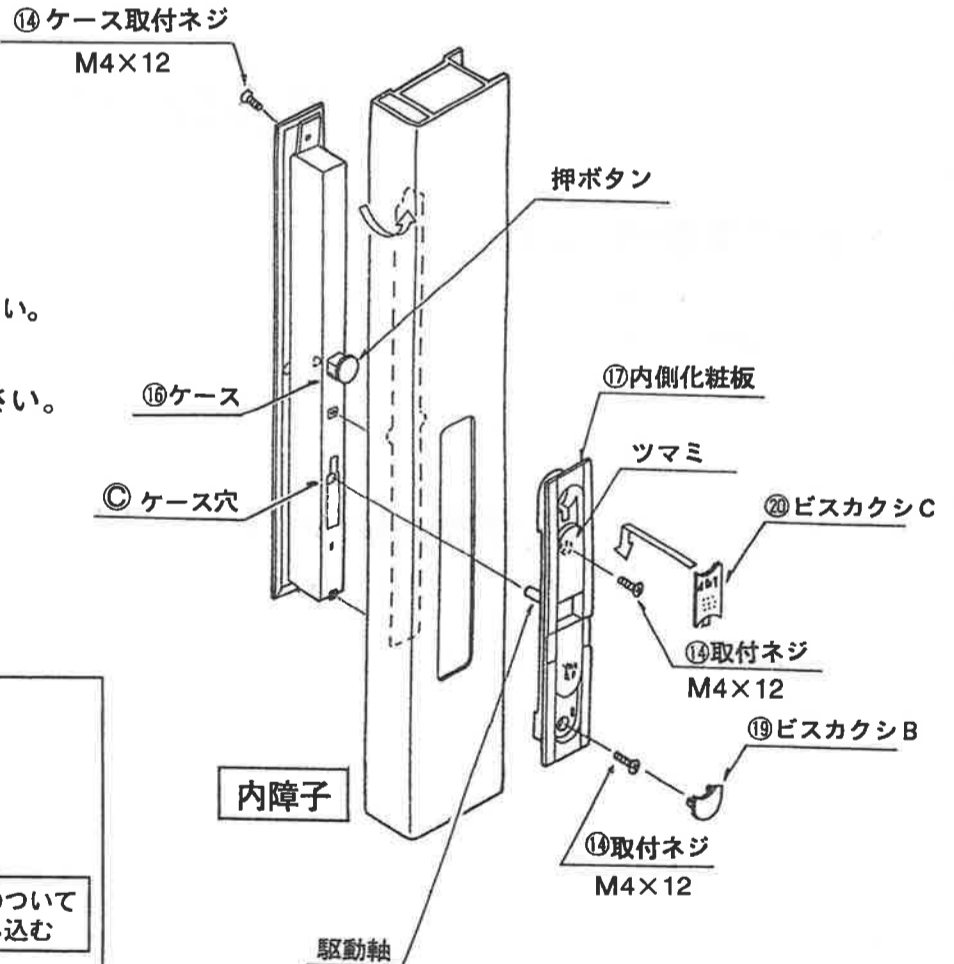
(注)正しく芯出しをしない場合、鍵による施錠操作が重くなり、最悪の場合、鍵での施錠ができなくなる恐れがあります。必ず、セットピンで芯出しをしてください。

5. ツマミを上げ、取付ネジ⑭を、締めてください。

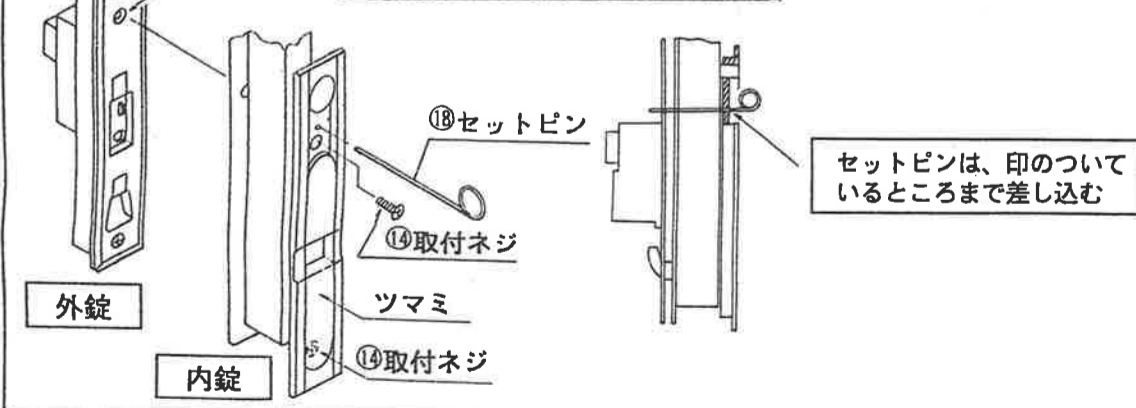
6. セットピン⑱を抜いてください。

7. ツマミを上、下に動かし、施錠ができるか確認してください。

8. ケース取付ネジ⑭を締めてください。



内外錠の芯出し (図-2)



C. 障子をきっちりと閉め、作動を確認してください。

1. 鍵 ② を右へ回すと施錠、左へ回すと解錠、元に戻すと鍵は抜けます。

2. ツマミを下げると施錠、上げると解錠。

3. 押ボタンを1回押すとガードロック状態(障子は、約100mm開口可)もう一度押すとガードロック解除。外側からのガードロック解除方法は、鍵を左へ回すと解除できます。

※本錠は、安全装置付のため、障子を閉めないでツマミの操作、押ボタンの操作は、できません。

D. 内側化粧板にビスカクシB、Cを取付けます。

1. 内側化粧板⑰にビスカクシB⑲を確実に、はめ込んでください。

2. ツマミを下げ、押ボタンを押し、ビスカクシC⑳を確実に、はめ込んでください。

3. ツマミ及び押ボタンがスムーズに作動することを確認してください。

本錠は、コンストラクションキー・システムが組み込まれています。詳細は、添付の合カギ袋を参照してください。